

骨盤臓器脱に対するメッシュを用いた腹腔鏡下手術を受けた患者さんへ

地方独立行政法人大牟田市立病院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

研究課題名	骨盤臓器脱に対するメッシュを用いた腹腔鏡下手術：Laparoscopic Pectopexy
当院の研究責任者 (所属)	氏名：河野 亮介 (地方独立行政法人大牟田市立病院 産婦人科)
本研究の目的	<p>メッシュを用いた骨盤臓器脱に対する手術療法では、2016年4月に保険収載された腹腔鏡下仙骨脛固定術が主流であるが、仙骨の前面がアンカーポイントとなるため尿管・腸管・下腹神経・脊椎・椎間板が近く、それらの損傷が懸念される。海外では左右のPectineal ligament (恥骨櫛靭帯)をアンカーポイントとする術法が開発され、Laparoscopic Pectopexyとして報告された。腹腔鏡下仙骨脛固定術とのランダム化比較試験も行われ、同等以上の治療成績が報告されている。</p> <p>本研究では、当院で当該手術を受けた患者を対象に、当該手術の周手術期合併症や治療効果、安全性を検討する。</p>
調査データ 該当期間	2017年4月から2018年3月までの情報を調査対象とします
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none">●対象となる方 上記期間内に骨盤臓器脱でメッシュを用いた腹腔鏡下手術を受けた患者●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します (患者背景・術後合併症・検査データ・治療効果等)
試料/情報の 他の研究機関への提供	他の機関への試料・情報の提供はありません
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	地方独立行政法人大牟田市立病院 臨床研究管理室 電話：0944-53-1061 (平日9時～16時)